

エアールクッション

取扱説明書

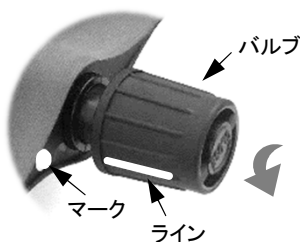
この度は、本製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に保管しておいてください。

△ 注意・警告

誤った取り扱いをすると、製品の破損につながる恐れがあります。

- ・クッションに過度の負担をかけないでください。
- ・刃物など、鋭利なものでクッションを傷つけないように注意してください。
- ・バルブ部分に強い負担や衝撃をかけないように注意してください。
- ・クッションカバーは摩擦などにより色落ち、色移りする場合があります。
- ・湿度の高い場所や室温の上がる場所、直射日光のあたる場所に放置しないでください。

バルブについて



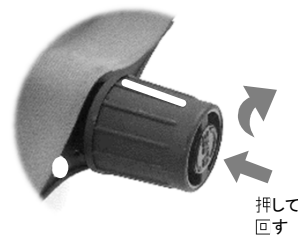
<A>ロック状態

バルブを反時計回りに回し、マークとラインの位置が合った状態。通常はこの位置で使用します。



調節状態

空気の調節をするときに使用します。



<C>開放状態

バルブを押しながら時計回りに回すと、着座していない状態では空気が入り、着座している状態では空気が抜けていきます。

- ！ ご使用時は、調節以外の目的で調節状態、<C>開放状態のままにしないでください。空気が抜けて底付きの原因になります。
- ！ 完全にふくらんだ状態で使用すると、クッションの効果を十分に発揮させる事ができません。空気を調節してフィッティングさせた状態でご使用ください。
- ！ 飛行機内など、急激な気圧の変化の影響で、クッション内の空気が膨張することがあります。飛行機への搭乗前には空気を抜いておく。またはバルブを<C>開放状態にしておき、空気量のチェックをお願いします。

調節のしかた

1. バルブを<C>開放状態にすると、自動的にクッション内に空気が入ります。完全に膨らんだ(空気音がしなくなった)ら、バルブを<A>ロック状態にします。
2. 車いすにクッションをセットします。
※移乗時、脚部がバルブに当たる場合があります。
移乗しない方向にバルブの向きを合わせることをお勧めします。
3. 車いす(クッション)の上に座り、バルブを調節状態にします。
4. バルブを時計回りに少しだけ動かすと、クッション内の空気が抜け、クッションが沈み込みます。(バルブから手を離すと調節状態に戻ります。少しずつ空気を抜きながら調節してください)
5. クッションの沈み込みがお好みの位置になった時点で、バルブを<A>ロック状態に戻してください。



再度調節する際は、1. からやり直してください。

お手入れのしかた

- ・クッションカバーが汚れた場合は、カバーを外し、本書記載の洗濯表示に沿ってお手入れしてください。
- ・クッション本体は「赤色が表面」です。表裏の入れ違いに注意してください。
- ・クッション本体が汚れた場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取った後、水で濡らした布で洗剤を拭き取り、その後乾いた布で水分を拭き取りよく乾かしてください。
- ・ほかのものと一緒に洗ったり、クッション本体をふき取った際は色落ち、色移りすることがありますので注意してください。

材質:(カバー)ナイロン



(本体)ポリエステル
ポリウレタン



本製品の廃棄については、最寄りの行政担当窓口におたずねください。